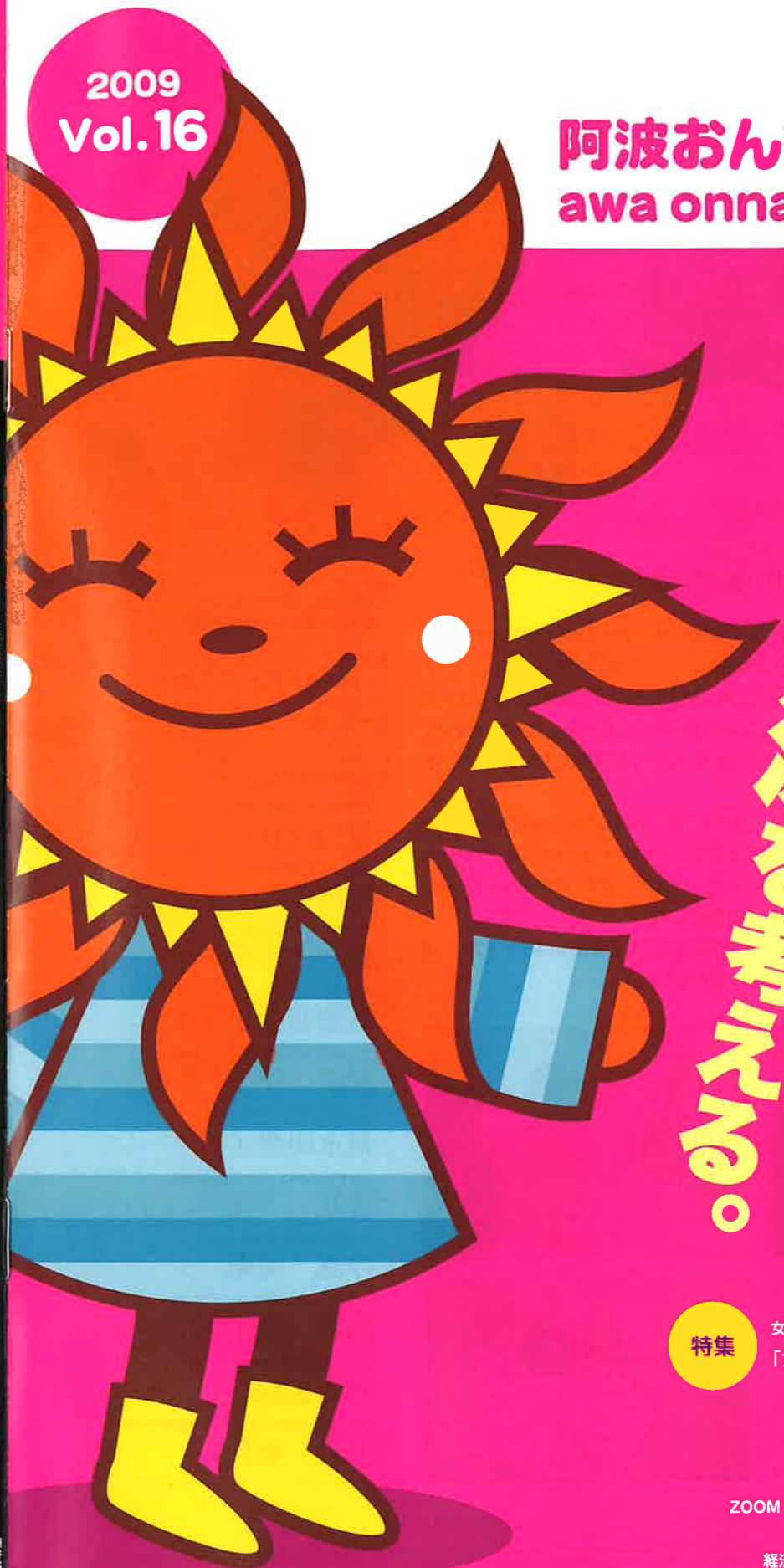


阿波おんなあきんど塾
awa onna akindo juku

2009
Vol.16



阿波おんなあきんど塾
経営者ネットワークNo.16

特集

女性の女性による女性経営者のためのネットワーク
「女あきんどネット～べちゃくちゃ問答塾～」

第1回 あなたの右腕はいますか？

第2回 経営におけるストレス解消法は？

第3回 仕事と暮らしのバランス

ZOOM UP あきんど塾 / New Cast 新たなキャスト紹介

経済と文化の融合～四宮賀代さん・佐藤あすかさん～

awa onna akindo jyuku Vol.16 Spring 2009

■発行：発行

AWAおんなあきんど塾・徳島市

■お問い合わせ先

徳島市商工労働課 徳島市幸町2丁目5 Tel.088-621-5225・5226 <http://www.nmt.ne.jp/~akindo/>

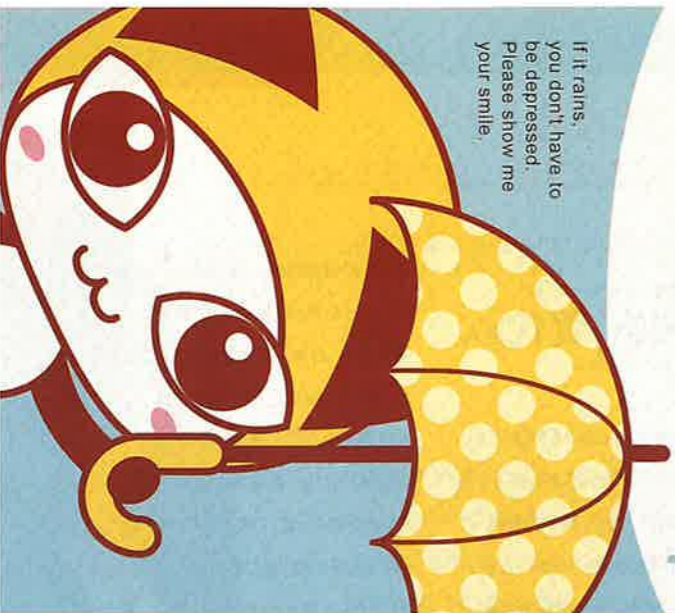
■サブテン

株式会社アワード

加工料使用

GOING
With an umbrella up

If it rains,
you don't have to
be depressed.
Please show me
your smile.



A four-leaf clover
brings good luck.



Road
after the Rain



■作者名/佐藤 あすか

awa onna akindo jyuku Gallery



女あきんどネット～べちゃくちゃ問答塾～

第1回 あなたの右腕はいますか？



徳島県は女性経営者の比率が日本一というのをご存じですか？しかし、現状ではそれが実感しにくい方が多いのではないのでしょうか？他では相談できない仕事や家庭などの女性経営者ならではの問題を抱えている方も多いと思います。3人寄れば・・・じゃないけれど、みんなで情報を共有できれば、様々な問題解決の糸口が見つかるかもしれません。



そこで、[AWAおんなあきんど塾]の主催により、一緒に考える仲間づくり、横のつながりで支援できるネットワークづくり、つまり「女性経営者のためのネットワークづくり」の会[女あきんどネット～べちゃくちゃ問答塾～]を開催しました。第1回目は、貴女に代わる(昔で言うか番頭さん)スタッフづくりについて、みんなでべちゃくちゃ考えました。



- とき
平成20年10月17日(金)
午後6時45分～午後8時45分
- ところ
ふれあい健康館 2F 第1会議室
- 参加人数
35人
- 参加AWAおんなあきんど塾キャスト(順不同)

(株)クラシー 代表取締役
植田 貴世子

(株)あわわ 代表取締役社長
坂田 千代子

オートクチュール板東 代表
板東 美千代

(株)ときわ 専務取締役
高畑 富士子

(有)新居バイオ花き研究所 代表取締役
新居 洋子

カラープロデュース ユリ 主宰
福永 由里子

(有)アン・モデルエージェント 代表取締役
青江 文

プライベートアトリエ 代表
今城 実紀

(有)ケイトップス 代表取締役
高岡 慶子

(株)立木写真館 常務取締役
立木 さとみ

(株)ひまわり 常務取締役・HAIRZ沖浜店ディレクター
大岩 明代

第1回べちゃくちゃ問答塾の意見をまとめて発表していただいた方々

右腕と
呼ばれる人は
何人か必要
なのでは



岸田工業(株)代表取締役
川田 博代さん

こんばんは。岸田工業の川田とうします。私達のグループで意見を紹介したいと思えます。まず、右腕とは自分の意見と同じと分かる人。自分の判断に迷った時とかにきちんとというふうな指示してくれる人じゃないかなというふうな話になりました。女性の場合やっぱり一人だけの右腕っていうのは難しいじゃないかという話です。私事の話でいうと私には右腕はいません。私が仕事を引き受けたのは父がきちんとした右腕を育ててこなかったことが、私が社長になってしまった原因なんだろうと思っています。私の中で右腕としての候補は、私の子供に思っていますが、子供に期待をかけたからといって必ず右腕に育つかどうかは分かりませんが、この努力は惜しまずには私は頑張りたいと思えます。

理想の右腕を
アンテナを
張り巡らせて
探したい



グラフィックデザイナー
岡本 友吟さん

はじめまして。フリーマガジンやチラシなどのデザインをしている岡本と申します。今回このような会に初めて参加させていただいて、急にまとめたのでなかなかちゃんといえないかもしれませんが…。右腕というよりも最初、スタッフを育てるという話がメインで、私が一番感銘を受けたのは、役職をスタッフにちゃんとつけること。自分のことも役職で呼んでもらうことに感銘を受けました。その後二代目育成の話題になって、先代の真似をしないで二代目は二代目らしい個性を生かした経営をするということが大事だと。右腕となる人も自分とは違うことが出来たり、役割分担ができる。そんな理想の右腕を、アンテナを張り巡らせて人材を見つけたいと思いました。

右腕と共に
目標に向かい
歩いていく
ことが大事



(株)テレバス四国 代表取締役
伊藤 明美さん

テレバス四国という業務用無線を扱っている会社の代表をしている伊藤と申します。よろしくお願ひします。私達のグループは夫婦で経営をなさっている方が多かったものですから、右腕というのはやっぱり夫婦かなと、それで、女性だからといってご主人の右腕というのはなく、一緒に経営をしていくという徳島の女性ならではないでしょうか、強さみたいな感じでした。ご主人の後を、一歩下がって歩くのではなく一緒に歩いて行く。そういうところが女性経営者には今後必要なのではないかと思えます。正しい答えは出ない。やっぱりこういうのってずっと話し合いをし、自分の中でたまっているものを外に出すことによって答えというのは出てくるのではないかと思えます。

気軽に
腹を割って
相談できる
人材が必要



(有)リアリティ三紀 代表取締役
米田 三紀さん

こんばんは。阿南市で不動産業を営んでいる米田と申します。私達のグループは創業期の方々が多かったので、右腕というよりもまず自分のお仕事の方が精一杯という方が多かったように思えます。リーダーとして右腕となる人材を求めるかっていうことなんですけど、まず、人材教育で妥協することなく、こういった人物を育てあげたいという思い。価値観が同じでしかも目標は同じということ。あとは、物事に対してその方に任せすぎず自分というものをきちんともった上で相談相手っていうことなどが候補に上げられました。ざっくりばらんに相談できる相手がまずは欲しいと思っている意見が多かったように思えます。こんな感じでまとめていただきました。

参加者の声

今回参加していただいた方々の感想をまとめてみました

- 植田社長の経営についてのお話しが参考になりました。
- 経営ということに迷い、人との関係に迷い、自分の在り方に迷っている方が多いんだなと思いました。
- 『相手を納得させるには自分できちんと結果を残す』という言葉が印象に残りました。
- 皆さんのパワーと素晴らしいトークに圧倒されました。
- 後継者のことについて勉強になりました。
- 様々な職種の方々の意見を聞くことができ、参考になりました。
- 前向きなご意見が多く、非常に刺激になりました。
- 右腕について『こういう人がいい』と紙に書いて育てていったら良いという意見が印象に残りました。
- 『人選には妥協しない』というお話が印象に残りました。
- 多くの方々の頑張りが印象に残りました。

第2回 経営におけるストレス解消法は？



徳島県の女性経営者の横のネットワークというか、横の繋がりがさほど感じられない、お友達ということで知り合いではあってもお仕事を挟んでの繋がりが少ないのではないかと、ならばそういうネットワークづくりにちょっと力をそそいでみようじゃないかというのが、今年のこの「女あきんどネット」という形になって活動として始まりました。



前回は「あなたの右腕はいますか？」というテーマで、熱く、楽しい時間をたくさんの方々と過ごしました。

2回目になる今回は「経営におけるストレス解消法は？」というテーマで皆さんにべちゃくちゃ問答していただきます。

本日も大変充実した時間となりますことを願って、これから皆様と議論を深めたいと思います。



第2回べちゃくちゃ問答塾の意見をまとめて発表していただいた方々

ストレスは人間関係と資金繰り等の金銭的なもの



(株)キョーエイ 役員 竹尾 あけみさん

どうも皆さんこんばんは。竹尾あけみと申します。皆さん社長さんが多いので、前向きに解決していることが多かったかなとは思っていましたが、ストレスを感じるの、人間関係とか金銭的なところとかで溜まっている。あと、部下のこととかでつまっているみたいな方もいらっしゃいましたが、だいたいにおいては皆さん結構自分なりに解決しているなど感じました。だから解消法は前向きに考える、全部上昇志向で前向きに考えていく、「これしかない」じゃなくて、「まだこれだけ残っている」みたいな考え方をするのがひとつ。もう一つは現状に感謝をする。「隣の芝生は青い」的な考え方でどんどんストレスは溜まるばかり。現状をありがたいと思うことも大事だということです。皆さんの貴重な意見、ありがとうございました。

仕事を忘れる時間とか空間を意識してつくること



リサイクルショップa'ya 代表 湯浅真由美さん

子供服・婦人服のリサイクルショップをしています。湯浅と申します。私どものグループではストレスにどういうストレスがあるかということで接客についてのストレス、スタッフの愚痴を聞くのも経営者としての役割ではあるけれどもその聞くことがまた経営者のストレスになっている。その他、夫婦経営のストレス・親子経営のストレス、身内で一緒に仕事をしていることのもある。ストレス発散法としては、やはり仕事を忘れる時間とか空間をつくること、仕事からはなれる時間というのがありました。それとマイペースっていうのも大事ではないかなと。人と比べるのではなくてマイペースで自分で自分自信が頑張りたいというというのが一番いいんじゃないかと。以上です。ありがとうございました。

- ①と き 平成20年11月18日(火) 午後6時45分～午後8時45分
- ②と ころ ふれあい健康館 2F 第1会議室
- ③参加人数 24人
- ④参加AWAおんなあきんど塾キャスト(順不同)

- (株)クラッシー 代表取締役 植田貴世子
- (株)あわわ 代表取締役社長 坂田千代子
- (株)ときわ 専務取締役 高畑富士子
- オートチュール板東 代表 板東美千代
- (株)ひまわり 常務取締役・HAIRAZ沖浜店ディレクター 大岩 明代
- (有)ケイトップス 代表取締役 高岡 慶子
- (有)アン・モデルエージェント 代表取締役 青江 文
- モンド・ジャコモ(有) 代表取締役 高木 博代
- (株)ココア堂 代表取締役 立川 真季

仕事のストレスは仕事で解消できるのか？



(株)茜庵 常務取締役 西川 陽子さん

茜庵という和菓子屋をしております。西川と申します。どうぞよろしくお願いいたします。仕事のストレスを仕事で解消するというのが本当が一番いいよねと、それができたら最高なだけどもそれはどうやったらいいだろう。仕事のストレスを仕事で解消するんだったら一つの方法として新しい自分が今までやってない仕事をやるっていうのは大きな解消法である。やっぱり、新しい事をやるということは、ワクワクもするし、そういう自分の気分の高揚感もあるのでそれが仕事のストレスを仕事で解消するっていうことは今までやってなかった仕事をやるというのがストレスの解消法になっていく意見もでした。大事なのは、小さなことに喜びを見つけていくって、そういう気持ちを忘れないということが大事なのではないかと。

ストレスを深刻に考えず逆に楽しめる余裕が必要



(株)ひまわり 常務取締役 HAIRAZ沖浜店ディレクター 大岩 明代さん

私は美容業をしている大岩と申します。よろしくお願ひします。こちらのグループでの今日のテーマの議論ですが、とても器の大きな方の集まりでありストレスを感じてらっしゃらない。強いてあげますと、男性を…あの、女性の起業家の方です。男性に対してのストレス、あと、パソコンにむかうストレス、あと、クレームを対応するということでのストレスということがありました。その解消法なんです、山に向かって叫ぶ、ガーデニングをする、あとはすごく男前な意見で、仕事のストレスは仕事で解消するというスタイルの意見がありました。いろんな意見がございましたが、結局まとめますと、あまり皆さんストレスを感じてないということです。逆に女性は、ストレスを楽しんでいるのではないかとということになりました。

参加者の声 今回参加していただいた方々の感想をまとめてみました

- ①とても元気で、ストレスなどもポジティブな発想で解決している。
- ②「人のいいところを見つける」。今日から実行したいです。
- ③いろんな方のストレス解消法が聞けて、参考になりました。
- ④自分は自分でいいんだ。仕事に打ち込むとストレスはストレスでなくなる。

第3回 仕事と暮らしのバランス



1回目、2回目と回を増すごとに、ますますべちゃくちゃ感が強くなり、好評をいただいている「女あきんどネット～べちゃくちゃ問答塾～」も今回で3回目となります。今回は「仕事と暮らしのバランス」というテーマで皆さんにべちゃくちゃ問答していただきます。その中で、さらに交流を深めていただいて、強い女性のネットワークをつくることによって徳島の女性経営者の比率全国トップというその力をですね、この100年に一度といわれている大不況を、私たちの力で吹き飛ばす位の意気込みでこれからもお互いに頑張っていきたいと思います。まさに、皆さんの本当の力を発揮できますように、皆様のご協力やご理解やご尽力をいただけたらというふうに思います。今回も熱い話で盛り上がりましょう。

- ①と き 平成21年2月24日(火) 午後6時45分～午後8時45分
- ②と ころ ふれあい健康館 2F 第1会議室
- ③参加人数 23人
- ④参加AWAおんなあきんど塾キャスト(順不同)

- (株)クラッシー 代表取締役 植田貴世子
- (株)あわわ 代表取締役社長 坂田千代子
- (有)ケイトップス 代表取締役 高岡 慶子
- モンド・ジャコモ(有) 代表取締役 高木 博代
- (株)ひまわり 常務取締役・HAIRAZ沖浜店ディレクター 大岩 明代
- オートチュール板東 代表 板東美千代
- (株)立木写真館 常務取締役 立木さとみ
- (有)アン・モデルエージェント 代表取締役 青江 文



第3回ぺちやくちゃ問答塾の意見をまとめて発表していただいた方々

幸せの基準
豊かさの基準
価値観を
どこに置くか



学校法人生光学園 中学校 副校長
美馬 幸子さん

生光学園の美馬と申します。今日は始めて参加させて頂きました。
仕事と暮らしのバランスというテーマは、かなり大きな話題に発展するかもしれないテーマなんです。結論としては、最近話題になりつつある、プータンの幸せを追い求める国の在り方なんか、皆さん聞かれてると思うんですが、その幸せの基準とか豊かさの基準とか、どこに価値観を置くかという事を考えるとき、私はやっぱり徳島が好きで、徳島で仕事をすることを自分で決めて、自分で選んで今、こうやって頑張っている、自信を持って幸せをどこに置くか、豊かさをどこに置かっていう基準を崩さない。そういう本当の意味での芯の強さを持っていくのが重要じゃないかという話も出ました。以上です。

仕事も大事
子どもとの
時間はもっと
大事かも



manis BALI/Spring Bloom
細川 可奈さん

今日初めて参加させて頂きましたmanis BALI/Spring Bloomというサロンをやっております細川と申します。一方的に私の悩み相談をさせて頂くような形になりました。諸先輩方の意見を聞かせて頂いたんですが、私は一人でサロンをやっているんですが、忙しくなると主人とケンカになったりするのも悩みなんですが、一番心配なのは、5歳になる娘が病気なっても仕事を誰かに任せるという事ができないので、仕事優先になってしまう。でも子どもの今の時間は今しかない、二度と戻ってこないよ、ていうのは言っていて、「なるほどなあ」と思いました。なるべく時間を大切にしながら仕事も頑張ろうという結論になりました。難しいテーマで、一番聞きかたかったことをたくさんアドバイス頂けたので、非常に心強かったです。ありがとうございました。

お母さんの
背中を見て
子どもは
育ちますよ



アイズ情報(有) 代表取締役
橋本 隆子さん

アイズ情報有限会社の橋本隆子と申します。暮らしとのバランスというどうしても、子どもや家庭との関係性が問題になるのですが、お母さんが頑張ったら子どもたちは分かってくれるよ、というような意見もありました。
いま、平成の不況、100年に一度の不況だから、「働いてくれるお母さん、頑張って来てね」とお子さんが言うというご意見もありました。今、自分が置かれている立場というのは、皆さん一緒だと思うんですけど、やっぱり経営者で良かったなという意見が多くて、大変というはなかったんですね。お母さんというか、母としての仕事もこなしながら、働いていけるというのが、今の私たちの喜びではないかと。プライベートと仕事の両立とは言っても、私たちは経営者なので、やっぱり仕事中心の状態になってしまうのかなど。

たまには
思い切って
人に会わない
ことも大事



(株)ひまわり 常務取締役
HAIRZ沖浜店ディレクター
大岩 明代さん

仕事と暮らしのバランスをとる時に、気をつけなければならないのは、「家族ではないのか?」ということで、家族に接する際にどうすればいいのか話し合ったところ、家族を束縛しないで個人を認めて生活することを心がけると、親子関係や夫婦関係がうまくいって、自分の仕事を認めてもらえ、また自分も相手の気持ちを考えることができ、お互いを尊重しあえるのではないかという意見になりました。
あと、最大の悩みは、自分の精神的なバランスで、経営者ともなると1日中仕事のことが頭から離れることがなく、気持ちが凄く苛立っているときに、人に会わなければならない時などは、思い切って会わない方法を取ることで、相手を不快な気持ちにさせることもなく、自身の精神的なバランスも保たれます。たまには思い切った割り切りも必要なのではないのでしょうか。

参加者の声

今回参加していただいた方々の感想をまとめてみました

- 自分自身悩んでいたテーマだったので、良い話が聞けました。
- いろいろな業種の方の考え方が聞けて、大変参考になりました。
- いろいろな立場・ケースの中で、仕事と暮らしのバランスをもたれているのだと思いました。
- 参加されている方達の、勢いが違うなあとお感させていただきました。
- 時代が変わり、家族関係の在り方も変わっているように思います。
- キャストの方々が『次代の女性経営者の育成のために』と尽力されている点印象に残りました。
- グループで個人的な相談に乗ってもらえて嬉しかったです。

これまでのぺちやくちゃ問答塾を振り返って

『女あきんどネット』で
女性経営者ならではの悩みを語り合う

徳島県は女性経営者の比率が日本一というけれど、現状ではそれを実感しにくい人の方が多いのでは?

ということで、今年度3回にわたって開催した『女あきんどネット』～ぺちやくちゃ問答塾～(inふれあい健康館)。

第1回は『あなたの右腕はいますか?』、

第2回は『経営におけるストレス解消法は?』、

第3回は『仕事と暮らしのバランス』をテーマに、各テーブルで経営における問題や日頃の悩みをとことん語り合いました。みんなで顔つき合わせて情報を共有することによって、少しでも問題解決の糸口が見つかったかもしれませんね。

今後は、さらに充実した「女性の女性による女性経営者のためのネットワーク」となるよう、もう少し回数を重ね人数も内容も発展させていきたいと思います。

あきんど塾キャスト一同、徳島の女性経営者の皆さんとともに元気にできるよう、力を合わせて頑張ります。

(AWAおんなあきんど塾キャスト/坂田千代子)

AWAおんなあきんど塾 キャスト



(株)クラッシュ 代表取締役
植田 貴世子



(株)あわわ 代表取締役社長
坂田 千代子



(有)ケイトップス 代表取締役
高岡 慶子



モンド・ジャコ(有) 代表取締役
高木 博代



(株)とまわ 専務取締役
高畑 富士子



(株)ココア堂 代表取締役
立川 真季



(有)新麗/イオ花き研究所 代表取締役
新居 洋子



(有)アン・モラルエージェント 代表取締役
青江 文



プライベートアトリエ 代表
今城 実紀



(株)ひまわり 常務取締役
HAIRZ沖浜店ディレクター
大岩 明代



(株)立木写真館 常務取締役
立木 さとみ



カラープロデュース コリ主宰
福永由里子



オートクチュール坂東 代表
板東 美千代



「自分の環境で自分にできること・・・」

有限会社アン・モデルエージェント 代表取締役

青江 文

あおい あや

自分の環境に文句を言わない。自分のものは自分で買う。自分のことは自分で考える。お世話になった人を大切に思う。小さな頃から当たり前のこととして思ってきました。この「環境」が今の経営に反映していると思っています。現状に文句を言うのではなく、受け止めてそこから考える。買えない時は我慢する。まず自分で考えることを基本とする。「本音」です。モデルは常に「何か」のモデルであり、その何かがなければ存在しません。その何かをイメージアップさせたり、わかりやすくするのがモデルの役割です。何かのために自分を鍛え抜く・・・モデル業界に携わる一番の理由です。1989年にモデル会社のない徳島に「無ければ作ろう」という単純な動機から会社を設立して今年で21年目を迎えました。当初は仕事の依頼も少なく、認められるまでには時間がかかりました。しかし、今は、「徳島に」だけでなく「徳島から」へと様々な挑戦をしていこうと、3年前から「徳島コレクション」と「アクターズスクール」をスタートさせ「徳島から」発信できるものとして成長させることが将来への大きな展望だと言えます。

資格:モデルインストラクター、ウォーキングインストラクター
趣味:柔道2段、マラソン
1989年創業(労働大臣認可36-ユ010014日本モデルエージェンシー協会)
モデル紹介業・モデル養成業・アクターズスタジオ(タレント養成所)の運営
〒770-0931 徳島市富田浜1丁目25-2
Tel.088-678-3339 Fax.088-678-3340



「美は力、美は心、 いつの時代も美は栄える」

プライベートアトリエ代表・ビューティディレクター

今城 実紀

いましろ みき

セラピスト、プロデューサー、ディーラー、この3つの顔を持つことを決意したものの活動範囲の拡大と複数の企業との業務提携の具現化が進むなかで見えてきた改善点。それはやはり1人ですべてをこなすスタイルでした。自由に動いていけるという大きなメリットの反面、仕事の拡大には繋がりません。それには自分の分身を育てることが必要です。大不況というご時世で大半の企業は業務の縮小に踏み切れるけれどあえて逆行してゆくことを考えています。斜陽なご時世だからこそ「美」は栄える。何故なら「美」は心に感動を与えてくれるからです。嬉しい!楽しい!幸せ!ありがとう!こんな感動を重ねてこそ明日への活力が生まれる、頑張ろうって誓えるのです。「美の力」=技術や実践法はもちろんのこと、精神論、心が及ぼす細胞への影響力等を沢山の達人に伝道しながら「美という幸せ」を届けたい。そして幸せ笑顔が溢れる時代の到来にお役に立ちたいと考えています。

プライベートアトリエ 2002年創業
エステ&メイクアップの施術・プロの養成スクール
サロンプロデュース・化粧品ディーラー
〒770-0911 徳島市東船場町2-10 アンヴィル東船場201
Tel.088-624-0172 Fax.088-624-1703



「歴史を守りつつ、新しいチャレンジを」

株式会社ひまわり 常務取締役・HAIRZ沖浜店ディレクター

大岩 明代

おおいわ あきよ

母(株式会社ひまわり副社長・大岩秀子)が1975年8月、私が生後3か月の時に始めた「ひまわり美容室」が株式会社ひまわりの原点です。祖母、母が美容師で、まさに「ひまわり美容室」とともに成長してきた私はまっすぐ美容の道へと進み、東京での修行期間をへて帰郷し、経営する側として一步を踏み出しました。技術者であり経営者という2足の草鞋を履くことは、とても難しく、とまどいと壁にぶち当たることの連続ですが、私は2代目として母が創ってきた歴史を守りつつ新しい発展へとチャレンジを続けたいと思います。私どもの仕事は技術職でありサービス業。どちらに偏ってもお客様に満足はしてもらえません。「お客様の必需品となること」をモットーとし、人とのつながりを大切にスタッフを大切にします。そういった基盤となる信念を持ち、マーケティングや人材育成、経済の勉強をしながら、さらに発展的なトータルビューティサロンを目指して進んでいきたいと思っています。

株式会社ひまわり 1975年創業
美容室HAIRZ沖浜店
〒770-8052 徳島市沖浜2-38-4 Tel&Fax.088-602-1830
e-mail hairz-okinohama@h-himawari.jp



「土着な魂と家業のDNAで発信を」

株式会社立木写真館 常務取締役

立木 さとみ

たつき さとみ

1883年創業、1980年のNHK朝の連ドラ「なっちゃんの写真館」のモデルにもなった立木写真館に生まれ育った私ですが、「後継者は弟だから」と、東京の出版社で編集者をしていました。それが帰郷することになったのは、弟がまだ写真の勉強で留学中だった1993年の、父の急逝がきっかけです。家業を手伝い始めてみて分かったことは、自分が圧倒的に土着で、写真屋のDNAを脈々と受け継いでいたこと。自分でも驚くほど、徳島のことが大好きで、写真の大切さをしみじみ知っています。徳島のご家族に幸せでいて欲しい。そのために、写真でお手伝いしたい。徳島の人に徳島を好きでいて欲しい。そのために、徳島自身にイキイキ輝いていて欲しい・・・そんな思いから、家業以外の活動にもいろいろ参加してきました。回り道でも、いずれ家業のプラスになると信じているからです。「徳島に立木写真館があって良かった」と思っていたら、これからはさまざまな発信をしていきたいと考えています。

株式会社立木写真館 常務取締役
1883年創業。営業写真館。婚礼写真、各種記念写真、学校アルバム
ほか写真に関する業務一切。
〒770-0932 徳島市仲之町1-38
Tel.088-622-6425 Fax.088-625-7368
http://www.tatsuki-photo.co.jp/



「答えは自分の中にある」

カラープロデュース ユリ主宰
福永 由里子
 ふくなが ゆりこ

色彩の魅力を感じて、「オーラソーマ・カラーセラピー」を仕事とすることになりました。ビジネスマナーの講師をしていた時、「色彩」が人間の心理に大きく影響することに気づき、「色彩」についていろんな角度から学んだ事が今の仕事になっています。経営に関しては、起業の際に先輩から伺った「変えてはいけない事、変えなければいけない事」をいつも念頭においています。時代の波に乗るためには、変革をおそれてはいけない。しかし、経営者として変えてはいけない事があるとのこと。いつも「変えてはいけないものは何か、変えなければいけないものは何か」を自分自身に問いかけています。また、仕事で決断をする時は「答えは自分の中にある」と思い、今何をしたいのか、どうしたいのかを考えるようにしています。自分の直感だけに頼りすぎず、経験だけに頼りすぎず、周囲の方々や家族に感謝しながら、これからも大好きな仕事を続けていきます。

カラープロデュース ユリ 2006年起業
 カラーとビジネスマナーのスクール。カラーコンサルタント、人材育成。
 ビジネスマナーインストラクター養成講座、カラーセラピスト養成講座、
 アロマセラピスト養成講座を開講。
 〒771-0143 徳島市川内町中島100-2 Tel.090-7579-3965



「お客様との信頼関係を大切に 夢のある服づくりを」

オートクチュール板東 代表・服飾デザイナー
板東 美千代
 ばんどう みちよ

オートクチュールとはフランス語で「高級仕立服」を意味します。母からの洋裁店を受け継ぎ約30年。最高級の素材を使った洋服は作り手として本当にやりがいのある仕事です。何よりも着る人がハッキリとわかっていることで、一人一人のお客様に似合うデザインを本人の身体に実際に合わせて縫い上げていく楽しさは言うまでもありません。お客様の個性を引き出し、魅力的な洋服を作るには、デザインやテクニックはもちろんのことですが、信頼関係が最も大切だと感じています。これからも長く着られる上質の服を作り続けていきたいと思っています。また今後は、流行を取り入れながら、以前作った洋服の肩幅などのお直し等、手を加えることで、クローゼットに眠っている素敵な洋服たちを蘇らせる事を提案していきます。使い捨ての時代から本物志向へ目を向ける時が来ている今だからこそ、「大切に生きる」この言葉をいつも心に置いて仕事に取り組んでまいります。

オートクチュール板東 1957年開業
 婦人服オーダー
 〒770-0023 徳島市佐古三番町3-5
 Tel.089-652-8926 Fax.088-626-3361

企業のみなさん、こんな時こそ 阿波おどりを、踊りましょう



阿波おどりグループ「虹」
四宮 賀代さん
 しのみや かよ

私は、物心付く頃から阿波おどりををはじめ、今では45年も経ってしまいました。ただ、長く続けている事が評価されているのだと思います。そこに留まらず活動している事そのものが評価されれば…という思いではありません。最近、阿波おどり指導は勿論、講演まで頼まれるようになり、今一度、私は社会に対して「何が出来るのか?」を考えてみました。世の中は、不景気の風が吹き、イベント物が取り止めになったり、スポンサーが手を退いたり、また、徳島の阿波おどり本番にも企業連が減ったそうです。しかしながら、まだまだ沢山の連は、毎年本



番に向け切磋琢磨しています。いつだったか、徳島の化粧品消費量は、日本一だと聞きました。その理由に上げられたのが阿波おどりです。確かに私も、阿波おどりには、専用の化粧品を買い、ちゃんとメイクをしています。その線で考えれば、「阿波おどりをすれば、桶屋が儲かる」みたいに、いろんな所が潤う様に思います。衣装一式小物まで数えても凄い。そして、人が集まれば食事もあるし、移動もする。県外客なら宿泊もしてもらえる…やっぱり徳島県人は、元気に踊ることで徳島が元気になる!阿波おどりを指導することで、文化の普及と向上のみならず、経済回復に一役買っていることを心に止め、阿波おどりを踊る元気は、徳島を元気にする力であり、ひいては日本を元気にできる可能性を持っているのだと思います。『企業のみなさん、こんな時こそ踊りましょう。』

interview No.15

interview
 guest

佐藤デザイン工房
佐藤 あすかさん
 さとう あすか

赤ちゃんの笑顔のような キャラクター創りを目指して

今号の本シリーズは、1975年生まれ、石井町出身で、キャラクターデザイナー、WEBデザイナー。カードリーダー、携帯電話のエンターテインメントサイトなどのキャラクター製作で人気の佐藤あすかさんをご紹介します。「目指すのは、「赤ちゃんの笑顔」のようなキャラクター創り」と笑顔で話す佐藤さんの人柄に優しいお母さんとしての顔がのぞきます。また、「子どもたちの優しい心を育てられる作品を創ることも目標のひとつ」と言うように、佐藤さんの創る作品・キャラクター達は、大人も子どもも見入る人がイメージネーションをふくらませてワクワクするものばかりです。現在は、育児と仕事で多忙な日々を送られていますが、これからもどんどん私たちが癒され、元気になるキャラクターを創作していただきたいと願います。また、愛読書は梶井基次郎の『檸檬』だという読書家でもあります。



佐藤デザイン工房
 sato design workshop
 asuka@luckta.com
 http://luckta.com